

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 6 例 (感染地域: 熊本県 1 例、中国 1 例、韓国 1 例、タイ 1 例、ベトナム 1 例、エジプト 1 例)、腸チフス 2 例 (感染地域: インド 1 例、インドネシア 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 125 例 (うち有症者 95 例、HUS 3 例) (感染地域: 国内 123 例、中国 1 例、インドネシア 1 例 国内の多い感染地: 愛知県 (12 例)、神奈川県 (9 例)、千葉県 (7 例)、東京都 (7 例)、兵庫県 (7 例) 年齢群: 10 歳未満 (43 例)、10 代 (21 例)、20 代 (19 例)、30 代 (7 例)、40 代 (5 例)、50 代 (11 例)、60 代 (9 例)、70 歳以上 (10 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (72 例)、O157 VT2 (18 例)、O26 VT1 (15 例)、O111 VT1 (3 例)、O121 VT1・VT2 (2 例)、O157 VT1 (2 例)、O26 VT1・VT2 (1 例)、O111 VT1・VT2 (1 例)、O165 VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (10 例))
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: すべて長崎県)、つつが虫病 2 例 (感染地域: 秋田県 1 例、福島県 1 例)、ライム病 1 例 (感染地域: 三重県)、レジオネラ症 7 例 (すべて肺炎型) (年齢群: 50 代 5 例、60 代 1 例、70 代 1 例 感染地域: 栃木県 1 例 (温泉)、群馬県 1 例 (温泉)、富山県 1 例、石川県 1 例、岐阜県 1 例 (温泉)、滋賀県 1 例、香川県 1 例)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 12 例 (腸管 7 例、腸管外 5 例) (感染地域: 国内 9 例、中国 1 例、サイパン 1 例、フィリピン/韓国/サイパン 1 例 感染経路: 経口 3 例、性的接触 2 例 (異性間 1 例、不明 1 例)、不明 7 例)、ウイルス性肝炎 4 例 (B 型 3 例: 感染経路_性的接触 2 例 (ともに異性間)、不明 1 例 C 型 1 例: 感染経路_不明)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (G 群、50 代)、後天性免疫不全症候群 11 例 (無症候 9 例、AIDS 2 例) (感染地域: 国内 9 例、中国 (香港) 1 例、東南アジア 1 例 感染経路: 性的接触 10 例 (異性間 5 例、同性間 5 例)、不明 1 例)、ジアルジア症 1 例 (感染地域: 国内)、梅毒 5 例 (早期顕症 II 期 2 例、無症候 3 例)、破傷風 1 例 (80 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 22 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県 (6.10)、青森県 (1.60)、宮崎県 (0.54)、岩手県 (0.41) が多い。
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 71 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 77% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県 (2.8)、三重県 (2.5)、茨城県 (2.2) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 25 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態が続いている。都道府県別では三重県 (1.9)、福井県 (1.7)、茨城県 (1.7) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県 (8.7)、大分県 (6.0)、宮崎県 (5.6) が多い。水痘の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いている。都道府県別では北海道 (2.3)、徳島県 (2.2)、山形県 (2.0) が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県 (17.1)、岐阜県 (7.2)、静岡県 (5.4)、愛知県 (5.2) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県 (1.00)、静岡県 (0.80)、山形県 (0.73) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県 (0.06)、岡山県 (0.06) が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では岐阜県 (0.04)、兵庫県 (0.02) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県 (8.3)、和歌山県 (6.0)、青森県 (5.6) が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では鳥取県 (0.05)、千葉県 (0.04) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県 (5.0)、新潟県 (3.8)、宮崎県 (3.0)、長野県 (2.9) が多い。
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では大阪府 (2.1)、愛媛県 (1.3)、石川県 (1.0) が多い。

	1) インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																						
愛媛県	.0		1.8	.8	3.3	1.4	.8	.4	1.0			4.5		1.3		4.5			1.3			
近畿	.0	香川	.1	1.2	.4	1.8	.7	1.9	.1	.7	.0	2.9	.0	1.4	.3	2.0						
		徳島		1.0	.9	2.0	2.2	3.1	.0	.7		3.0		1.7		1.0						
高知	.0	.6	.5	1.3	.6	1.3	.1	.7			3.8		.4	.3	1.3		.1	.1				
全国	.2	.0	1.3	1.1	2.8	1.2	1.8	.4	.7	.0	.0	3.0	.0	1.6	.0	1.3	.0	.1	.3	.0		
北海道	.2	.0	1.7	1.6	1.5	2.3	.7	.3	.6			5.3	.0	2.8		.7						
東北	.4	.0	.5	1.1	2.2	1.5	.6	.4	.7	.0		4.8		1.8	.0	.8		.0	.3			
関東	.0	.0	1.6	1.2	2.6	1.3	1.2	.5	.7	.0	.0	2.2	.0	1.5	.0	2.4		.0	.3			
甲信越北陸	.0	.0	1.1	1.1	3.1	1.4	3.6	.3	.6			2.8	.0	2.3		.8	.0	.2	.5			
東海	.0	.0	1.5	1.2	2.6	1.2	5.4	.6	.8	.0	.0	2.7		1.5	.0	.6		.2	.1			
近畿	.0	.0	1.3	.9	3.0	1.1	1.7	.3	.6	.0	.0	3.3	.0	1.2	.0	.8	.0	.2	.5	.0		
中国四国	.0	.0	1.1	.8	3.2	.9	1.0	.2	.7	.0	.0	3.1	.0	1.3	.0	1.5	.0	.2	.4			
九州沖縄	.7	.1	1.3	.9	3.6	1.1	.5	.3	1.0	.0		2.5		1.8	.0	1.6	.1	.1	.2	.0		

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (7月27日集計)

全国 全数把握感染症 第29週 (2006.7.17 ~ 7.23)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																							
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第29週報告数	全 国		6	2		125			3					2													12	4				1	11	1			5	1						
	四 国	愛 媛 県					2																																					
		香 川 県																									1																	
		徳 島 県																																										
		高 知 県																																								1		
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					4																																					
		東 北 関 東					11							2																														
		甲 信 越 北 陸					41																					7																
		東 海 近 畿		1	1		20																	1	1																			
		中 国 四 国			1		7																																					
九 州 沖 縄			2			14			3																																			
週 推 移	全 国		6	2		125			3				2													1	7	12	4					1	11	1			5	1				
	29週		6	2		125			3				2														1	7	12	4					1	11	1			5	1			
	28週		5	2		122	2		2				4	2							2						7	11	4	3			2	1	10				7				2	
	27週	5	3		1	105			2				5	1	2						2						9	10	2	2	1	3	2	12					9	3				
26週	2	4	1		111	1		1				6	1							2						13	12	5				1	16	2					12	3				
2006年累積数	全 国	30	223	47	15	1289	42		230	14	15	1	1	170	23	14		2		1	33				3	230	393	136	99	8	90	75	676	49	9		334	51		42				
	四 国	愛 媛 県		3			10			4				1													1	1	3	1		1		6					2					
		香 川 県					10			1		2	1														3	2					1	2					6					
		徳 島 県					15																					3											3	1				
		高 知 県		2	1		1			2												1						1											19					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					22	11		12	13				1											1	7	12	4	3		5	6	18	1					6	2			
		東 北 関 東	1	5			122	2		9		2		98							2						9	13	8	4		5	4	22					1		20		4	
		甲 信 越 北 陸	15	88	29	11	357	14		46		5		1	6	10				1		17					69	182	32	38	6	29	26	357	20	4			95	17		17		
		東 海 近 畿	7	15	3	1	72	4		20		1		39	1						4						24	9	12	8	1	12	4	29	6	1			11	3		3		
		中 国 四 国	2	22	5	2	137	3		30	1	2		4	5						1					2	38	46	20	9		8	14	76	2	1			35	2		6		
九 州 沖 縄		1	73	7	1	237	1		61		3		2	3	2					1	6					47	99	36	12	1	10	15	130	14	1			44	4		6			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.7.27集計)